

西東京市役所 インターンシップ (サマー子ども教室)

プログラム概要	: サマー子ども教室は、子育て支援の充実と、子供が安心安全に過ごせる夏の居場所を確保することを目的に行われている。児童館は、地域における子どもの遊びや生活の援助や子育て支援を行い、子どもの心身の育成と情操を豊かにすることを目的とする施設。
実習先	: 西東京市立保谷小学校 栄小学校 田無柳沢児童センター
実習先情報	: 保谷小学校は西武新宿線西部柳沢駅を最寄りとする、また栄小学校は西武池袋線ひばりヶ丘駅を最寄りとする公立小学校。田無柳沢児童センターは学童クラブを併設する西東京市の児童センター。
参加人数	: 5名
学部学科	: 教育学科、幼児教育学科、日本文学文化学科
実習期間	: 令和5年8月7日～8月31日
本学担当教員	: 國吉正彦

○はじめに

今回は、保谷小学校、栄小学校、田無柳沢児童センターに実習させて頂いた。実施小学校児童を対象に、夏休みの居場所作りとしてカリキュラムを組み、体験学習を中心に1クール約20人の教室形式で工作、クッキング、企業の出前講座などの指導援助を行う。また、サマー子ども教室の実施がない日は、市内児童館もしくは学童クラブで子どもたちの活動を援助する実習を行った。

○実習内容

サマー子ども教室では使用教室の清掃、教室準備、児童が工作をする際のサポート、各グループに別れ児童に指導した。田無柳沢児童センターでは施設内の清掃や消毒作業、学童に通う子どもと一緒に遊ぶなどをした。

保谷小学校

第2クール 第3クール (8月7日 8月8日)

- ・いろ色工作「マーブリング 塩細工」

マーブリングは水、絵の具を使用し紙にマーブル模様を作る。一枚目は絵具のみ、二枚目はクレヨンで絵を描いた後マーブリングをした。

塩細工は塩にチョークで色を付け様々な色の層ができるように瓶に詰める。瓶の上には布とモールを使って飾りつけをする。

- ・日本製紙連合会の方の講義 平面ルービックキューブ作成

日本製紙連合会の方の紙についての講義の後、平面ルービックキューブを作成。平面ルービックキューブは前日に作成した見本をもとに折り紙と黒の厚紙を使って作成。

第4クール 第5クール (8月9日 8月10日)

- ・いろ色工作「マーブリング 塩細工」

第2、第3クールと同内容。

- ・牛乳のことをよく知ろう「バターづくり」

前半は牛乳の歴史や乳製品についてのクイズを実施。

後半は生クリームからバターをつくり実食した。

栄小学校

第1クール 第2クール (8月22日 8月23日)

保谷小学校 第4、第5クールと同内容。

第3クール 第4クール (8月24日 8月25日)

保谷小学校 第4、第5クールと同内容。

第5クール 第6クール (8月29日 8月30日)

- ・キューピー「マヨネーズ教室」

・いろ色工作「マーブリング 塩細工」

保谷小学校 第2 第3クールと同内容。この日は学生が進行を担当した。

児童センターでは遊びの補助、片付け、消毒作業、事務作業。

主にテーブルゲームや塗り絵、お絵描き等を室内で行い、それに加えて風船バレーやバスケットボールなど、運動遊びも行った。

○提案したこと、発信したこと、など

8月30日サマー子ども教室「マーブリング・塩細工」の運営・企画を学生が行った。先生の進行を参考に、人の配置や工作の説明、タイムキープなどを担当した。

○経験したこと、学んだこと、など

サマー子ども教室・児童館での実習を通し、多くの児童と関わったことでどのような考え方をするのか、学年によってどのくらいできるのが異なるのかなど現場でしか得ることができない学びを深めることができた。

また、受け入れ先の方々の指導を身近で学ぶことで児童との接し方や分かりやすい指示の方法など多くのことを学ぶことができたとともに、児童が活動を楽しむ様子から今後の活動に対するモチベーションを得ることができた。

○今後の展開、今後の学び、など

教育学科は3～4年生に教育実習、幼児教育学科は9月に幼稚園の1日実習がある。

今回の活動は、小学生の児童との交流がほとんどであった。この経験をもとに幼稚園生や中高生との関わりにも応用していきたい。

日本文学文化学科はあまり子どもに関わる機会はないが、このフィールド・スタディーズを通して将来家庭や教育の手助けをする職業に興味を持つことが出来た。

○まとめ

私たちの目標としていた「小学生が楽しめる、そして私たちも共に楽しめるサマー子ども教室に！」は大成功に終わり、小学生と過ごす時間は新鮮で充実した時間でした。このプログラムを通して学んだ人と人の繋がり、沢山の出会いから生まれた経験を大切にしていきたい。

○担当教員コメント

子どもたちとの関わりの楽しさや難しさを体験することができた。また、職員や保護者とのコミュニケーションの大切さを学ぶことができた。自らの将来について、今後の大学での学びの在り方について考えることができた。

○実習先コメント

事前学習がオンライン上だった為不安もあったが、問題なく終わった。

学生自身で企画運営を行った経験は今後も活きると思う。

これからも各自実習等を通して子どもたちとの関わりを大切にしていってほしい。

